

## 令和 4 年度保健所圏地域・職域連携推進事業実績報告まとめ（特徴）

※令和5年2月27日現在

## ＜協議会・作業部会の開催状況＞

- 協議会 16保健所圏 延べ18回開催  
 ○作業部会 14保健所圏 延べ22回開催

## ＜共同事業の実施状況（講演会・健康教育以外の取組の一部を抜粋）＞

保健所	実施状況
野田保健所	管内大学准教授考案の「オンラインフィットネステスト」の周知啓発 啓発物（協議会構成機関から寄稿された記事をHPに公開、QRコードをつけた卓上カレンダー）配布
印旛保健所	職域が発行する広報誌等への健康記事掲載、がん検診受診勧奨ポスターの作成及び配布
海匠保健所	メンタルヘルス啓発用「こころく健康通信海匠！」の作成、海匠「やさ・しー・い食の応援店」の啓発
山武保健所	フレイルの健康への影響について動画作成（YouTube公開） フレイル予防調査の実施
夷隅保健所	特定健康診査受診啓発のためのチラシを委員が所属する大学と共同で作成し配布
千葉市	健康づくり推進事業所への取組支援（優良事業所表彰、健康経営に関するセミナー及び情報交換会）、 健康づくり推進事業所認証事業の普及啓発、就労世代向け健康情報リーフレットの作成配布
柏市	メール配信による事業所への健康情報の提供（1回/月）

## ＜成果及び課題について（一部抜粋）＞

## ○成果について

- ・共同事業としては、昨年度まで中止していた啓発活動に取り組むことができた。
- ・作業部会で今年度の方向性を決定し、職域（商工会、JA等）の広報誌に糖尿病発症・重症化予防に関する記事を掲載する等、各市町において職域と連携した具体的取組が進んだ。
- ・今年度からのテーマ変更に合わせて、協議会及び作業部会の構成員を見直した。同じ役割を担う機関を集約して人数を減らし、テーマに関する有識者を追加したことで、専門的かつ実践的な助言が得られるとともに、活発な意見交換を行うことができた。
- ・コロナ禍で中止されていた本協議会が再開され、コロナ禍前の事業の再開に加え、オンラインセミナーの実施や関係機関との情報交換や共有等を活発に実施し新たに関係が構築された。

## ○課題について

- ・新型コロナウイルス感染症により協議会活動休止期間があったためか、構成員が変わったからか、協議会への積極的な意見がなく、構成員同士の連携もあまり見られない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域住民への普及啓発がほとんど実施できなかった。
- ・職域保険者が事業に関わっておらず、共同事業が限定的な実施に留まっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により保健所や各関係機関でリーフレット等を配布できる事業が減少しており、普及啓発の機会が減少している。